

四つのテスト—言行はこれに照らしてから—

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

# 熊本南ロータリークラブ



# 週報

R I テーマ  
**心の中を見つめよう 博愛を拡げるために**  
 Reach Within to Embrace Humanity

2011-2012 度 国際ロータリー会長  
 カルヤン・バネルジー(インド)

例会日: 毎週月曜日 12:30~13:30 例会場: 〒860-8536 熊本市上通町2-1 ホテル日航熊本内  
 創立日: 昭和33年9月1日(承認 昭和33年11月24日) 事務局: 〒860-8536 熊本市上通町2-1 ホテル日航熊本内  
 TEL: 096-211-2720 FAX: 096-211-2721 E-mail: minamirc@mail.sysken.or.jp

国際ロータリー第2720地区  
 会長/堀川貴史 幹事/野口泰則  
 クラブ広報委員長/馬場大介

2011-2012 RI テーマ



第22回 例会記録(通算第2507回)  
 平成23(2011)年12月26日

### 今日の例会

1. 今日の歌
2. 来訪者紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. 新春合同例会

### 今月・来月の行事

- 1/16(月)18:30~新年会@新茶家
- 1/23(月)18:30~第3回クラブ協議会@ホテル日航熊本
- 1/25(水)8:30~ゴルフコンペ@城南 CC
- 1/25(水)18:30~親睦活動委員会 IM@ひろのすけ

斉唱 国歌 君が代  
 ロータリーソング 「奉仕の理想」

### 会長報告 (堀川貴史君)

さて、2011 年最後の例会となりました。年度は異なりますが、1 年の締めくくりとなります。

今年の 10 大ニュースは・・・

- (1)東日本大震災、原発事故で甚大被害
- (2)原発停止相次ぎ、電力不足が深刻化
- (3)なでしこジャパン、サッカーW杯優勝
- (4)菅首相が条件付き退陣表明、3カ月続投。野田政権発足
- (5)歴史的円高、一時1ドル=75円32銭
- (6)小沢民主党元代表を強制起訴、公判で否認
- (7)野田首相、TPP交渉参加を表明
- (8)大阪府知事・市長のダブル選で「維新の会」圧勝
- (9)大相撲の八百長発覚、春場所中止
- (10)沖縄防衛局長が不適切発言で更迭

などが挙げられております。流行語大賞は「なでしこジャパン」トップ 10 の中には「帰宅難民」「絆」「3・11」「スマホ」「どじょう内閣」「どや顔」「風評被害」「ラブ注入」「こだまでしょうか」が入っております。芸能界では、「島田紳助さん引退」「立川談志さん死去」「芦田愛菜が大ブレイク」「AKB48旋風」直近では、「家政婦のミタ視聴率 40%」などが代表的なことではなかったかと思えます。私どもの熊本南 RC でも、今年は東日本大震災に際しての様々な形での復興支援活動をはじめ、九州新幹線全線開業記念駅伝参加、クラブ内では、通算 2500 回例会開催、HP リニューアルや、職場訪問、様々な親睦会を行なってまいりました。抱えている問題としては、会員数の伸び悩み、出席率の低下といったところが挙げられるの

ではないでしょうか。そんな反省を踏まえつつ、2012 年は、新世代プロジェクトでの事業決定、オハイエ支援、熊本城マラソンボランティア活動、熊本南 RC 家族清掃活動など、わくわくするような事業が予定されております。

年末にあたりまして、熊本南 RC60 名の会員の皆様方が元気に今日の日をお迎えいただいていることにあらためて、感謝を申し上げ、2012 年はさらにお一人お一人が今年以上に光り輝くような年になりますよう、また、その 60 名の光を束ねたとき、熊本南 RC が、芸能界で旋風を巻き起こしております AKB48 ならぬ SRC60(ゴロも悪いし、言いにくくもありますが)みたいに、地域社会の方々に好意的に受け入れていただけますよう心からご祈念申し上げ、本日の例会を持って 2011 年のすべての事業を終了いたします。1 年間ご苦勞様でした。ありがとうございました。以上、会長報告と致します。

### 出席報告 (園田修司君)

会員数	出席数	出席率	前々回(12/12)修正出席率
60名	45名	81.81%	91.23%
出席規定適用免除者 9名		欠席記録免除者 0名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

### 幹事報告 (野口泰則君)

1. ガバナー事務所より、「ガバナー表彰(個人)の推薦について」各クラブにて永年奉仕活動(地域・社会・国際など)を続けてお

2. ガバナー事務所より、「ポリオ撲滅動画配信についてのお知らせ」

3. ガバナー事務所より、「ロータリー・カードの東日本震災復興支援についてのお願い」  
(抜粋)この度の東日本の大震災、大津波そして原発事故は国内外の厳しさの下で、まさに国難の様相を呈しており、職域のリーダーとして日本のロータリアンは避けることの出来ない問題です。ロータリー財団管理委員会は「東日本震災復興基金日本委員会」を承認し、東日本の被災現地の要望に応えた効果的な救援プロジェクトが広範囲に展開されています。(ロータリーの友11月号17頁、12月号24頁)

またロータリー財団は日本の全ロータリアンが復興支援に参加できるように、ロータリー・カードのロイヤリティ(カード使用額の0.3%とゴールド・カードの年会費10,500円のうち3,000円)を復興基金として利用するよう決定しました。(2012年12月31日まで)

私は、日本の総てのロータリアンがロータリー・カードを取得し、身分証明書として日常生活でも使用して復興支援に協力して頂きたいと考えています。

カード利用のロイヤリティは僅かですが、「9万人のロータリアンが夫々、1万円を現金でなくカードで支払うと、270万円が復興基金へ寄付されます。」チリも積もれば、山となり、多額の復興基金が得られるのです。

今、被災地の方々とライフラインへの思いを共有して、貴クラブ及び自宅、会社などのライフライン(電気、水道、ガス、食料、電話など)の料金をロータリー・カードを通して決済することをお願いします。日頃からロータリーの精神である思いやり(誠意)の心を一般社会の人たちに理解して頂くことは重要で、カードの利用は絶好の機会です。

来る2012年7月から田中作次国際ロータリー会長年度が始まります。田中会長エレクトは全地区のガバナーに「全ロータリアンがロータリー・カードを取得し、日常生活で家族と共に利用し、復興支援の協力を！」とメッセージを送られました。オール・ジャパンで日本の復興支援活動をして、田中会長年度の盛り上がりを世界のロータリアンに示したいものです。

日本のロータリアンの皆様へ、

「ロータリー・カードで東日本の復興を！」

ロータリー財団管理委員  
東日本震災復興基金日本委員会委員長  
小沢 一彦

4. 日本ロータリー親睦ゴルフ大会事務局より、「第23回JGFR沖縄大会のご案内」

日時:2012年3月12日(月) 場所:沖縄ゴルフクラブ

5. 次回例会は1月6日(金)12:30~熊本ホテルキャッスルで「熊本市域RC新春合同例会」です。お間違いないようご注意ください。

## 委員会報告

### ●寿崎パストガバナー

「2011-12年度 第1回2720地区ガバナー諮問委員会報告と岡村ガバナーエレクト壮行会報告」  
2011年12月22日15:30~ @日本料理「おく村」

#### ○本田ガバナー挨拶

昨日で全クラブの公式訪問終了。ガバナー・ノミニーの紹介。数々のお礼の言葉

#### ○赤山ガバナー・ノミニー挨拶

人吉中央 RC 創立会員。学校法人経営。1940年3月30日生まれ。GSE 団長(7810地区アメリカ・カナダ)

#### ○本田年度の諮問事項

1. 東日本大震災義援金の使途について、直前ガバナーのガバナー会で決まったことは、前回7月に報告しました。つまり小学校から奨学金を出すように募金もしましたが、被災した子供たちは国が支援することが決まり、今回改めて「ロータリー希望の風奨学金」を設立しました。この委員9名の中に2720地区の木下直前ガバナーがなられています。地区の東日本大震災の各クラブの義援金は熊本 RC が84万円でトップ、人吉 RC66万円、八代 RC62万円、熊本南 RC59万円で4番目。本田年度合計1796.5万円、木下年度繰越539.1万円。利息など加えて2720地区合計2348.3万円。これを2520地区、2530地区へ各700万円拠出し、残りを奨学金へ寄付。について皆さん賛成。奨学金について大学5万円/月、大学は48か月、短大は24か月、専門学校は36か月、留年の場合は打ち切り。
2. RI 理事指名委員会指名委員の選任について、2013年 RI 国際大会で選任される理事は第3ゾーン(日本)、7、12、16、20、27、32、34ゾーンの内737クラブ会員の中から理事が選出されます。指名委員会指名委員は各地区から1名選出された者で構成されます。条件としてパストガバナーであること、委員を務める前の3年間に少なくともロータリー研究会に2回、国際大会に1回出席が条件です。この委員は3月の地区大会で選出されます。

#### ○報告事項

- 1) 地区大会は3月9日、10日。熊本南 RC はコ・ホスト。記念講演は熊本出身の東大大学院教授 姜尚中氏。RI 会長代理は大阪中央 RC の創立会員の横山守雄氏。職業分類は鉄鋼貿易。73歳。
- 2) バンコクでの RI 国際大会に2720地区から100名と報告しています。ごぞって参加して下さい。
- 3) メジャードナー(R 財団に1万ドル以上寄付)2720地区は格段少ない。2770地区130名、2650地区106名、九州で2700地区12名、2710地区27名、2720地区6名、2740地区19名。

○岡村ガバナーエレクトの国際会議への壮行会は現ガバナー補佐と岡村年度のガバナー補佐全員とパストガバナー。何人かの奥さんの出席で50人近くでした。岡村年度の会員は地区と同じ数字2720地区を目指すとのこと。(現在は2379名)岡村ガバナーエレクトに会員増強のコツを教えてください、とお願いしておきました。

## スマイルボックス(元田亮一君)

○堀川貴史君・野口泰則君

本日の卓話者 九州財務局理財部金融監督官の佐藤勇作様のご来訪を心より歓迎致します。お話を楽しみにしております。また会員の皆様、2012年も素晴らしい年となりますよう祈念してスマイル致します。

○寿崎肇君

今年1年皆様のお蔭で無事に過ごすことが出来ました。ありがとうございます。申し訳ないことは皆様に響燈を買うことばかり申し上げました。来年は反省して模範的なバスタガバナーになりよう心がけます。今年のことはどうかお許し頂き、来年は皆様の1年が夢と希望と歓びに満ち満ちた1年でありますようお祈り申し上げます。

○稲留穂君

今年もあと5日です。皆さん、間違いなく年を越して下さい。新春合同例会で笑顔でお会いしましょう。

○赤澤剛君

子供の春高バレーのご協力ありがとうございました。1月5日の第一試合で札幌大谷高校と対戦します。熊本県の代表として頑張ってくれると思います。本当にありがとうございました。

○永井富士雄君

今年は絆の年でした。私にとって3つの絆は

- 1、家庭ではハワイ旅行の絆
- 2、職場では社長就任による従業員、取引先との絆
- 3、地域社会では伝統ある熊本南 RC に加入させて頂き、皆様との絆を図ることが出来ました。感謝のスマイルです。

○高宮宏君

寒くなりましたですね。いよいよ本年最後の例会ですね。会員の皆様方のご健康と、よい年をお迎えされることを祈念します。

○川越武君 III

ホームクラブを連続して欠席しました。お詫びのスマイルです。

○工藤青史君 V

久しぶりの出席です。また今日は早退させて頂きます。大変申し訳ありません。今年一年お世話になりました。

○星野誠之君

24日、25日と雪の中子供たちを連れてキャンプに行っ  
てまいりました。さすがに寒かったですが、とても楽しいクリ

スマイルでした。それと本日は諸用で早退します。すみません。

○塚本侃君・現王園敏伸君

今日は所用のため早退しますので、お詫びのスマイルです。

☆結婚祝いスマイル

工藤青史君

☆誕生日スマイル

山本博史君

ベストスマイル賞選出のお願い。新年会のオークション景品提供のお願い。

本日の合計	23,000 円
今年度の累計	822,690 円

## ●外部卓話



九州財務局理財部金融監督官  
佐藤雄作氏  
「最近の財務局における金融行政」

～ 配布資料をご参照ください ～

## 【例会予定】

1月23日(月) 会員卓話 現王園敏伸会員

1月30日(月) 未定

2011年12月29日

## オーストリアのロータリアンが福島の高校生を招待



オーストリアを訪れた  
福島の高校生たち。  
写真提供：渡辺浩子さん

今年8月、東日本大震災で被災した福島の高校生23人(元青少年交換学生2人を含む)とロータリアン2人がオーストリアを訪問し、現地で文化や自然に触れました。

「被災地の高校生を受け入れたい」という第1910・1920地区(オーストリア)の青少年交換委員長からの1通のEメールが、今回のプロジェクトの始まりでした。このEメールについて知った第2530地区青少年交換委員長、渡辺浩子さんが、福島県相馬市と南相馬市の各高校に参加者募集を呼びかけました。「私自身も、震災のショックと原発事故の不安でいっぱいでしたが、被災地のロータリアンとして何かをしなければならぬと思い、決心しました」と渡辺さんは振り返ります。募集の結果、40人以上の応募があり、その多くが、津波で自宅を流された子や、家族を亡くした子、原発で避難を余儀なくされ両親が失業した子でした。「そんな状況でも前向きな子どもたちがいることに、一筋の光が見えました」と渡辺さん。オーストリア政府と日本の外務省からの後援、第2760地区(愛知県)の協力、さらにルフトハンザ航空による運賃半額割引に加え、事前のオリエンテーションでは在日オーストリア大使自らが相馬市に足を運ぶなど、各方面から多くの支援がありました。

オーストリアに到着した一行は、文化や歴史のツアー、トレッキングやスポーツ、オペラ鑑賞など、3週間の訪問中にさまざまな体験をしました。参加した高校生の一人、鈴木ひかるさんは、次のように感想をつづっています。「人の温かさに触れた。命を感じた」。同じく参加した高校生、菊池優里さんは、現地の人々との交流について、次のようにつづっています。「拙い英語やドイツ語に、必死に耳を傾けてくれる人がいました。地震や津波の話聞いて、泣いてくれる人がいました。別れ際、泣きやまない私たちを、黙って抱きしめてくれた人がいました」。最終日にはウィーンで日本大使館主催のさよならパーティーが催されました。

渡辺さんは次のように語ります。「21人の生徒たちは、いつかきっと、世界のどこかで誰かに手を差し伸べることができると思っています」

詳細は『ロータリーの友』11月号をお読みください。